

# 造 創 作

ひとがつくり、  
ひとがつなぐ。





お施主様の「夢」を実現したい。  
家を建てる時代から、夢を叶える時代へ

わたしたち白川建設は、住宅に正解は無いと考えます。  
建築家同士で認め合う自己満足住宅に意味はなく、お施主様の満足度が最優先。  
住宅に正解があるとすれば、お施主様だけが判断できるものです。  
白川建設は、お施主様に100%満足いただける家づくりを全力で目指します。

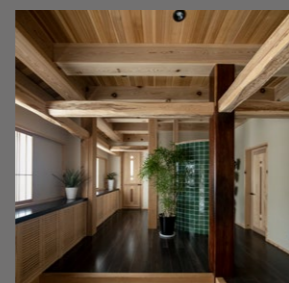
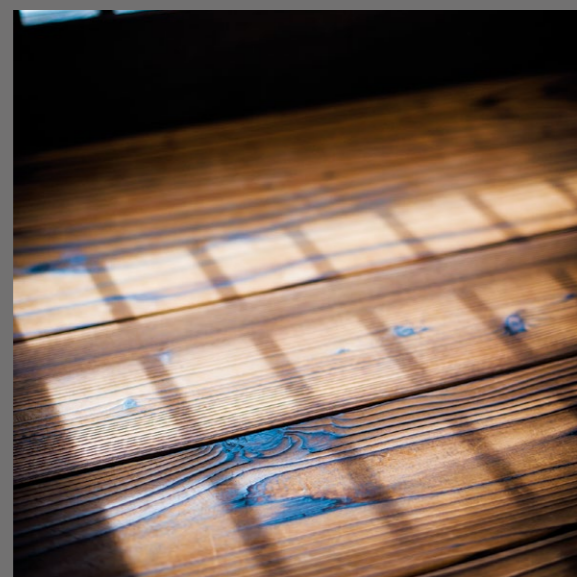
## 木材へのこだわり

Commitment to Wood

木材をふんだんに使った家づくりにおいて、  
使用するのは高品質の無垢材だけ。  
特性を見極め、適正な場所へ使います。  
それが「本物」の木の家です。



Philosophy 01

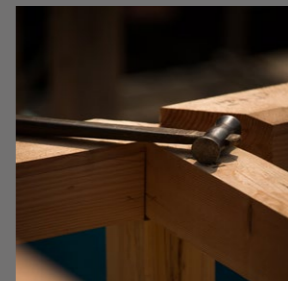




## 技術へのこだわり

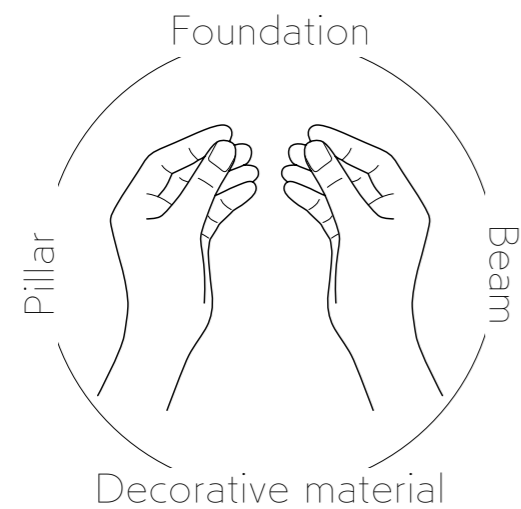
Commitment to Technology

わたしたちは、<sup>わざ</sup>技を使う<sup>すべ</sup>術を知っています。  
家は代々受け継がれていく財産。  
適材適所の人の技術こそが、  
特別な家をつくれます。



Philosophy 02

## Japanese Architectural Beauty



### Obsession 01

#### 職人による手刻み

住宅は工業製品ではありません。

近年プレカット（工場加工）が大半をしめている中で、白川建設では今もなお、土台、柱、梁・桁、化粧材、すべてを職人による手刻み加工で行っています。

完成すると見えづらい人の手間や思考。そこに価値がつく壺や絵画のように、家にも同じ価値観があるはず。骨董品のように価値が最大限に高まるのが完成時ではなく、何十年後の未来——。それが家の理想系だと思います。



TRADITIONAL TECHNIQUE





## WOOD PROFESSIONAL



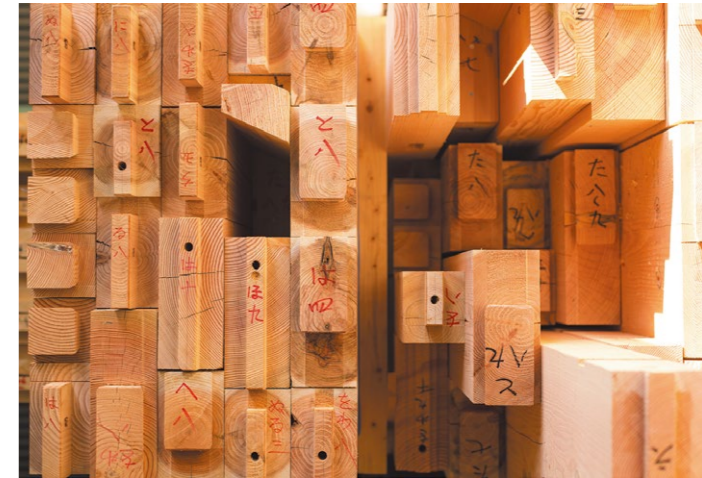
Obsession 02

### 白川建設は木を知っています

わたしたち白川建設は材木店から創業し、木材をふんだんに使った家づくりを得意とした建設会社です。木は生きているから個性があり、生育環境によってさまざまに変形します。

それを知っているからこそ、匠（大工）は自らの手で刻んでいます。木が備える強さや性能を最大限に引き出し、材木屋で培ったノウハウと歴史、経験に裏付けされた匠の細やかな仕事で、最高の住空間をご提供いたします。

金物で確保されている耐震性も重要ではありますが、そこに木材の組み方（木組み）による強度が加わることでより強くなります。



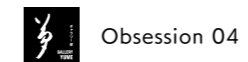
Obsession 03

### 無垢材の強み

見えない構造材にも無垢材を使う。

古くからある神社仏閣は、もちろんすべてが無垢材・天然もの。水分による伸縮があり、それが馴染みあい粘りと強度を生み出す。

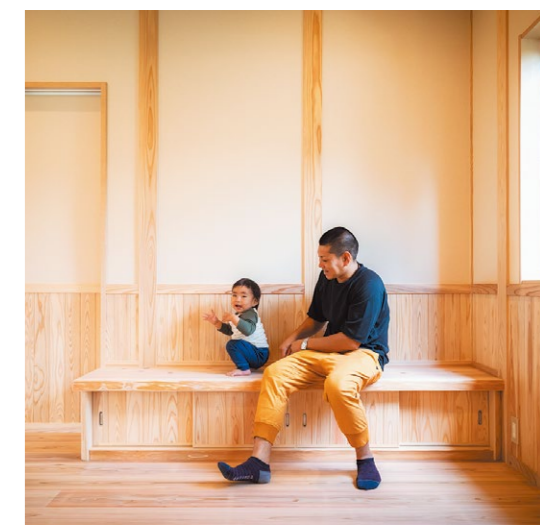
すべてを人の手でつくりあげることで迫力が生まれ、完成までに費やした手間や思考は人の心をも動かす。それを無垢材で手掛けることで現代に生きる私たちを魅了する神社仏閣は自然と共に生きる財産になるのです。



### 「理想」を優先した自由設計

最低限ではなく最大限、白川建設は自由設計であり、お施主様の『家』に対する理想を優先します。お施主様が家に対して何を求めているのかをくみ取り、じっくりと時間をかけ完成にいたします。

手刻み加工、無垢材、基礎断熱、長期優良住宅等、白川建設の基礎となる部分は多々ありますが、一番はお施主様が理想の家に住むこと。私たちプロが見て素晴らしい家でも、お施主様がそう感じていなければ価値はなくなってしまいます。そのためにも、家を建てる前にいかに価値観のすり合わせができるかは非常に重要です。





施工実績と基本仕様 >>>



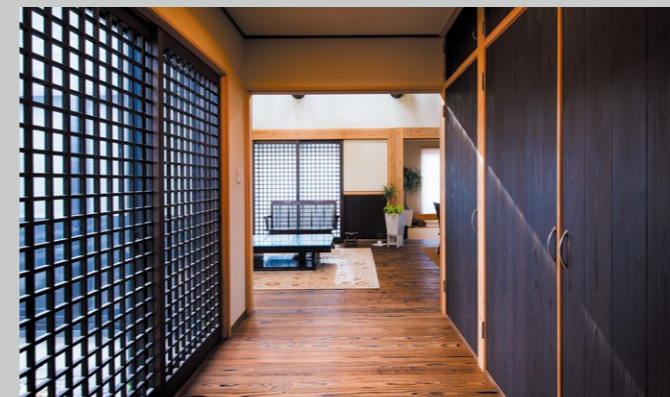
works

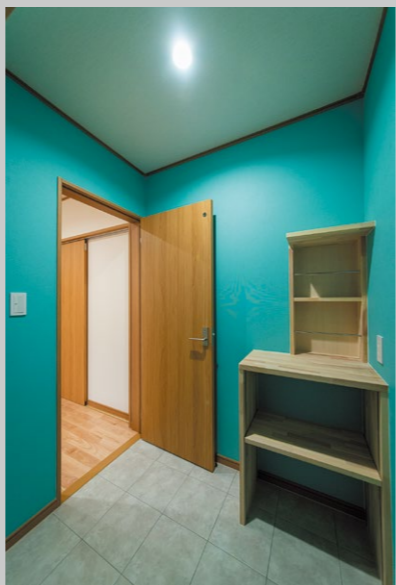
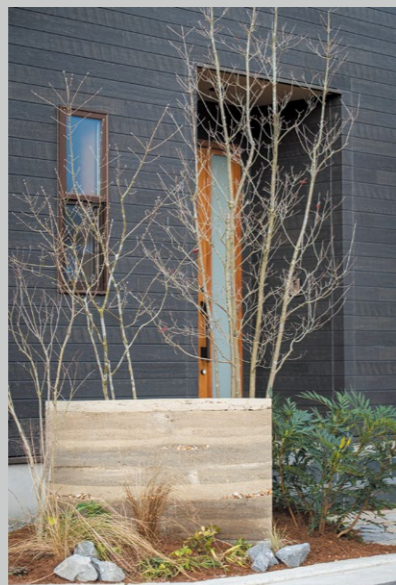
CASE 01 > CASE 02 > CASE 03 > CASE 04 > CASE 05 > CASE 06



works

CASE 01 > CASE 02 > CASE 03 > CASE 04 > CASE 05 > CASE 06







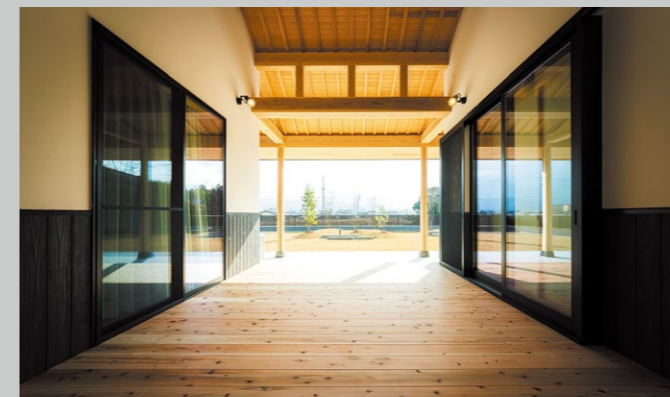
works

CASE 01 > CASE 02 > CASE 03 > CASE 04 > CASE 05 > CASE 06



works

CASE 01 > CASE 02 > CASE 03 > CASE 04 > CASE 05 > CASE 06





基礎



【基礎断熱 24時間換気システム (sumika)】  
床下まで居住スペースと同じ環境。床下収納等が確保しやすい。気密性・断熱性が高い、床下エアコンの設置が可能。基礎の地熱効果で省エネ効果が高い



【シロアリ返し付き断熱気密パッキン】  
気密パッキン・断熱ブロック・シロアリ返しが一体化した画期的なパッキンです (しるあり保証1000 Joto基礎断熱工法対応)

サッシ



樹脂サッシ、ペアガラス、アルゴンガス入りが標準仕様、トリプルガラスも対応可能

屋根



化粧梁の板張り天井を基本とし、屋根断熱だからこそ開放感ある木組みを見せた力強い吹き抜けも推奨

収納関係



収納内部は棟上げが終わり、実際に収納スペースに立ってみてから検討ができる。実際に見ることでイメージしやすく、使い勝手の良い収納が実現可能

外壁



■耐震パネル、断熱材、防水シート、胴縁、仕上げ材の順に施工  
■仕上げは、塗装サイディング、タイル、塗り、吹き付け、ガルバ、すべてに対応

断熱材



- 外張断熱  
旭化成のネオマフォーム
- 充填断熱  
高性能グラスウール  
ハウスロンゼロ

外張断熱により熱橋部からの熱損失がなくなり、施工性、気密性が高まる。さらに充填断熱を組み合わせることで+アルファとして外部からの防音対策にも

床



■床の仕上げは無垢材、フローリング、タイル等すべてに対応  
■オススメは杉の板張り、柔らかく足触りがよくお子様がそのまま寝転んだり、走り回るのには最適。傷はつきやすいのでその辺は要相談

長期優良住宅

「認定基準」について

<p><b>劣化対策</b> 数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること。</p> <p><b>耐震性 (耐震等級3級)</b> 極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため、損傷のレベルの低減を図ること。</p> <p><b>省エネルギー性</b> 必要な断熱性能等の省エネルギー性能が確保されていること。</p> <p><b>維持管理・更新の容易性</b> 維持管理対策等級 (専用配管) … 等級3 維持管理対策等級 (共用配管) … 等級3 更新対策 (共用排水管) … 等級3</p>	<p><b>可変性 (共同住宅・長屋)</b> 居住者のライフスタイルの変化等に応じて間取りの変更が可能な措置が講じられていること。</p> <p><b>バリアフリー性 (共同住宅等)</b> 将来のバリアフリー改修に対応できるように共用廊下等に必要スペースが確保されていること。</p> <p><b>居住環境</b> 良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること。</p> <p><b>維持保全計画</b> 建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修等に関する計画が策定されていること。</p>
--	---

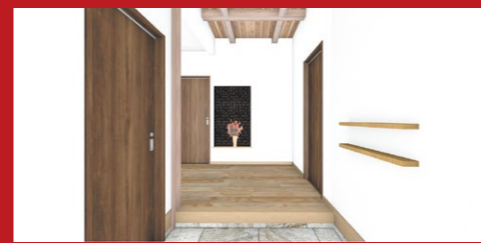
耐震性、省エネルギー性、バリアフリー、劣化対策等、いつまでも安心・快適な住まいに暮らす、家は建て替えるものではなく受け継ぐもの、それを実現するために選ぶ基準


**Special**

## VRでリアルに体験

ARCHITREND VR

360度VRシステムによるイメージの具現化。  
 建ってからの後悔ではなく、建つ前の気付き。  
 そこにフォーカスした万全の事前準備は、  
 まさにお施主様ファースト。



建具の開き具合やキッチンの高さ、廊下の幅、コンセントの位置などは、図面やパースから想像したり、建築途中で打ち合わせして決めるのが現状でした。しかし、実際に家が建つと、「少し狭かったな」「棚が少し高いな」ということが起こってしまうこともあります。ARCHITREND VRを使えば、家が建つ前に、実際の間取りで、家の中をリアルに歩いて体感することができます。空間の広がりを目線で体感VRテクノロジーでプランをすることで、これから建つ家での生活を疑似体験しながらチェックすることができます。白川建設のお客様へのご提案は「見る」から「体感」するへ。職人の手刻みにこだわり、守るべき伝統は継承し、新しい技術は進んで導入。「伝統の継承と技術革新」をモットーに、家造りに取り組んでいます。

ARCHITREND **VR**

